

---

---

# 幼稚部だより

日本聾話学校幼稚部 2020年5月11日(月) NO・1

---

---

さわやかな風が吹く5月になりました。例年ですとあれこれと外出の予定を考えていたゴールデンウィークも、今年ばかりはいかにお家で過ごそうかと考え工夫して過ごしたことを思います。

非常事態宣言が延長され登校しての教育活動は少し先になっています。数字に一喜一憂してはいけませんが、つつい毎日のニュースを気にしながら、早くみんなが安心してきる日が来てほしいと願う毎日となっています。

さて、先週学校からもお知らせが出ましたように、幼稚部においてもオンラインでの活動を行っていきます。7・8日はそれに伴う機器の準備や接続の確認等のご協力をありがとうございました。私も元気な子どもたちの顔を見ることができうれしい思いでした。社会がどのような状態であれ、桜の花は満開になり緑の葉を茂らせていくように子どもたちも日々小さな成長を重ねていることを感じます。いつもそばに居るお母さん、ありがとうございます。大人自身も不安がある毎日での子育てです。お母さんはどれだけ気を使いながら毎日を過ごしているのだろうと思うだけで、“ありがとう”と言う気持ちになります。

今週からオンライン（Zoom）で個別を中心に行っていきます。子どもたちとつながるための可能性の一つとしてこのようなことが考えられるということはすごいことです。一人一人の成長と今を見つめながら、一人一人にあった形で取り組んでいきたいと思っています。

10分間という短い時間となりますが、大人側が何かをさせようとするのではなく、子どもの気持ちや気づきなど心の動きに目を向けながら時間を共にすることが大切です。一瞬でもいいので相手としっかりつながることから始めていきますが、画面を通じてつながるといのは子どもにとっては簡単なことではないかもしれません。持ち上がりのクラスもありますが、初めてであった先生とはゆっくり焦らずつながってほしいと思っています。今週は3回の個別を予定しています。そして、来週も続きます。少しずつ慣れていくことで、活動の様子も変わっていくことと思います。ゆっくり見守っていきましょう。持ち上がりのクラスでは、画面を通じてですが担任との久しぶりの再会はうれしいようで、はにかむような表情が印象的でした。そして、待ってましたかのように伝えたいことを矢継ぎ早に伝えていました。

先生と会えない、友だちと会えないということは子どもたちにとって大きな不安でもあったと思います。先生を感じ、友だちを感じるができるように私達も取り組んでいきたいと思っています。

保護者の皆様のご理解とご協力、ありがとうございます。そして、これからもよろしくお願ひ致します。

(吉田)